

「台風15号、19号、21号」による大規模災害

お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げます
とともに 被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます

10月19日、いわき市の被災された組合員宅へ生活支援物資を届ける



被災者支援カンパの取り組みにご協力をお願いします



11月6日 韓国軌道協議会からの支援

千葉県を中心に甚大な被害をもたらした台風15号の復旧作業をしている最中に、またもや大型で強い台風19号が10月12日～13日、台風21号は25日～26日にかけて日本列島を直撃した。

その被害は、台風15号を上回り西日本から東日本・東北にかけて至る所で大きな爪痕を残した。強烈な暴風により、家屋が吹き飛ばされ、また連続的に降り続いた豪雨により、至る所で河川が決壊し、家屋や車などが押し流されるなど、台風による自然の脅威は、私たちがいまままで経験をしたことのない想像を絶するものだった。

あらためて、お亡くなりになられた方々にご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げます。台風により、未だに避難生活を余儀なくされている方がおられる。JR総連においても浄水場が破壊され、生活用水がなく不衛生な状況を強いられている組合員や家屋が水に浸かり、生活の術の多くを失った組合員もいる。

鉄道施設の被害も甚大で橋梁や路盤の流出、車両基地や新幹線車両の浸水など、復旧に相当な資金と時間、労力を要することは想像に難くない。

JR総連は、今後も関係機関と連絡を密にしながら、復旧・復興に全力を挙げるとともに、現在、被災者支援カンパを取り組んでいるので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

台風19号の被害

(11日までに)

死者	90人
行方不明者	5人
避難者	2669人
住宅被害	
全半壊	1万1685棟
一部損壊	1万1906棟
床上浸水	2万9998棟
床下浸水	3万4307棟
断水	2戸

2019年11月12日 東京新聞

JR総連 単組・地協拡大代表者会議を開催!



JR総連は10月28日、目黒さつきビル会議室において「単組・地協拡大代表者会議」を開催し、各単組の代表者、地協の代表者など42名が参加した。会議では、当面する秋のたたかいはじめ、2020JR総連春闘のたたかひ、新生JR東労組を強化するたたかひなどについて意思統一した。

田城副委員長の司会、座長ではじまり、榎本委員長が挨拶要旨参照した後、執行部からI、平和・人権・民主主義を守るたたかひについて、II、安全確立と政策制度要求実現の取り組みについて、III、当面する組織運営について、提起した。

討論では、8単組および8地協から再発言含めて18名から発言があり、職場や地域からの実践に基づいた報告や意見が積極的に出された。新生JR東労組への組織破壊攻撃を許さないたたかひでは、前の発言者に絡んだ発言もあり、昨年から行ってきた口の字形式の会議が定着した感があった。

特徴的には北陸地協の関根氏(JR東労組)から、18春闘の

敗北による大量脱退で組合未加入者が過半数を占める職場で起きている生々しい実態が報告され、あらためて労働組合の重要性を認識するものとなった。

「ある運輸職場でその日、6名の年休申し込みと本来業務外の運輸部セミナーで運転士が足りなくなった。そのため所定乗務行路を本社経由で他の運輸職場に臨時行路として割り当て、列車を運行させようとしていた。現場から怒りの声が爆発し、予定していたセミナーが中止され乗務行路が元に戻されたが、会社への不信感が増大したままになっている。労働者代表制が法制化された場合の職場の姿を映し出している」との危機感が述べられた。また、「真実の声」の管理者発信者が明らかになったことへの怒りと新生JR東労組を強化するための発言が多く出された。

柳書記長がまとめ(要旨参照)を行った後、最後に榎本委員長の団結カンパロで会議は成功裡に終了した。



北陸地協・関根氏(JR東労組)

榎本委員長挨拶要旨

9月、10月の台風で100名以上の方の尊い命が奪われ、お怪我や心に深い傷を負った方、今なお苦しんでいる方々がおられる。支援カンパのご協力をお願いします。

JR東日本は台風15号の上陸の前日に計画運休と運転再開の時刻を発表したが、被害が出る前になぜ運転再開時刻が確定できるのか強い違和感を持った。結果として運転再開時刻の繰り下げや翌日になるなど、277万人もの利用者には大きな影響を与えた。この責任はどう取るのか。また、台風19号でJR東日本長野新幹線車両センターと120両に及ぶ新幹線車両が水没した。これは新幹線車両を退避させなかった経営陣による人災である。

さらに、避難指示が出ているにも関わらずこの新幹線基地で働いている社員に避難させず、自衛隊のボートで乗務員や検修社員29人が救出された。これはもう経営陣として失格ではないか。

JR東労組は本部をはじめとする9地本と、東京・八王子・水戸3地本の一部役員の対立が1年半以上続いている。18春闘で決定した機関総括を認めない、守らないという言動はJR東労組の団結と運動を破壊している。

さらに、畠山君が「真実の声」の発信者であったことが判明した。幾つもJR東労組の規約・規則を違反し、名誉毀損、侮辱罪などにあたる犯罪でもある。JR東労組本部には一日も早い真相の究明と、関係者に適切な処分を要請したい。

連合は、今定期大会で「労働組合の役割の強化に繋げる方向で労働者代表制の法制化に向けて検討する」方針を決定した。経済界も労働法規委員会で労働者代表者機関の制度化について検討している。憲法28条(労働者の団結権)との関係において、いかにして整合性を持つのか、労働組合としてしっかり勉強していきたい。

柳書記長まとめ要旨

まとめとして1点目は、台風15号と19号などで各地で甚大な被害をもたらした。JR総連も各単組と連携し被災地への激励など行ってきたが、まだまだ支援が行き届いていない。避難勧告への無対応や北陸新幹線120両の水没など、会社の危機管理のあり方、企業体質が問われている。本日の執行委員会で被災者支援カンパの取り組みについて決定した。各単組のご協力をお願いします。

2点目は、安倍首相が進めようとしている憲法改悪に向けた国民投票を見据え、憲法9条を守り抜くたたかひだ。各地協で憲法学習会や平和集会、街頭行動など取り組んでいる。今後も仲間と共に立ち上がる実践的な各種取り組みを積み上げ、組合員の反戦への意識を固めよう。

3点目は、JR東労組内部からの組織破壊攻撃に抗するたたかひだ。「真実の声」の管理者が明らかになった。本人は自宅謹慎となっているが、JR東労組には厳重かつ適切な対処をお願いします。また、JR東労組の組織問題の核心については、今日お配りしたJR東労組の9月10日号の緑の風号外に詳しく記載されているので、職場組合員との読み合わせなど、創意工夫した取り組みを要請する。

4点目は、2020春闘と労働者代表制ならびに働き方改革に対するたたかひだ。JR総連は2020春闘についてあくまで統一要求・統一闘争としてJR総連春闘をたたかひ抜く。今連合大会で労働者代表制の法制化を求める方針が再確立された。現在のJR東日本の社友会の役割と同じ状況になる危険性も存在する。労働組合として労働者の多数派を結集していくために職場活動を基礎にたたかひを展開しよう。



結成30周年！ 連合第16回定期大会を開催！

連合は10月10～11日、新宿文化センターで定期大会を開催した。神津会長は「結成30周年、連合はまっすぐの道を一步一步進んできた。幅は広いが左右には道を外すことなくぶれずに進んできた。混迷する日本においてこのことの持つ意義は限りなく大きい。取り巻く環境は大きく変化していくが、大会スローガンの『私たちが未来を変える～安心社会に向けて～』を心に、果敢に挑戦していこう」と挨拶した。

今大会では、①すべての仲間をまもり・つなぐための集团的労使関係の追求、②政策の実現と労働条件の改善、③真の多様性が根付く職場・社会の実現、の3つの重点分野を設定した。これまでは「雇用・ワークルール・社会的な賃金相場形成」の課題のもとに、組織・政策・政治・平和・国際などの7つの運動を縦割り進めてきたが、この重点分野に今後5年間をかけ、人材や財政の資源を集中していくことが提起された。

具体的な方針では、過半数労組がない職場で、労働者の代表が経営側に賃金・労働条件などについて意見を述べる「労働者代表制」の法制化が提起された。これにより増加が見込まれる「曖昧な雇用」で働く人への法的保護と、組織化による問題解決を図るとしている。

また連合本部内の統治機能の強化、地方連合、地協の活動と運営体制の見直し、財政などの機構改革を進めていくことも併せて確認された。

神津会長、逢見会長代行、川本会長代行、相原事務局長が再任され、向こう2年間の運動方針を決定し節目の大会は終了した。



女性の積極参画で男女平等の職場・家庭・社会を実現しよう！ 2019 連合中央女性集会に参加！



10月18日、「連合第4次男女平等参画推進計画」の達成に向けて、残り1年ラストスパートをかけよう！」をメインテーマとし、有楽町よみうりホールで、2019連合中央女性集会が開催され、826名

が参加した。

連合中央女性集会は今年30年目を迎え、相原事務局長が主催者を代表して、「第1回の『あらゆる分野への女性の積極参画で、男女平等の職場・家庭・社会をつくらう！』というテーマが今日に適用できるとすれば、それは考えるべきである。先の連合大会で、連合の2020～2021年度の運動方針に男女平等をはじめとして、一人ひとりが尊重された『真の多様性』が根付く職場・社会の実現が3つの重点分野の一つとして掲げられた。この課題の実現に向け、取り組みを進めたい」と挨拶した。

続いて、井上総合政策推進局長が、「連合第4次男女平等参画推進計画」の状況を報告し、「国際社会からみた日本の男女平等の現状」、さらに、「連合30周年」として、組織率17%という中で「多様な皆さんと手を携えていく」と基調提起を行った。

次に、日本大学人間学部現代社会学科の大沢教授より、「なぜ女性管理職は少ないのか」というテーマで基調講演が行われ、制度や労働条件など、女性の昇進意欲を阻害している要因について述べられた。

引き続き、井上総合局長をコーディネーターとし、コメンテーターに大沢教授、パネリストとして相原事務局長、岡本連合顧問、西田連合奈良会長、全自交労連の菊池東洋交通労働組合執行委員長により、パネルディスカッションが行われた。

最後に集会アピールを確認し、石田連合副事務局長の閉会あいさつで集会を終了した。

JR総連は、これからも様々な分野での女性参画の実現と、女性組合員が安全で働きやすい労働環境のための取り組みを、連合と共に進めていく。

底上げの流れを止めず、分配構造の転換につながる得る賃上げを！ 連合2020春季生活闘争中央討論集会に参加！

最後に相原事務局長が討論集会での議論のまとめを行い、集会を締めくくった。
JR総連は、1月17日の春闘担当者会議での議論を経て、1月31日開催の第42回定期中央委員会で2020JR総連春闘方針を決定していく。

11月6日、連合はホテルラングウッドにおいて2020春季生活闘争中央討論集会を開催し、構成組織、地方連合会などから482名が参加した。第1回中央執行委員会（10月24日）で確認された2020春季生活闘争基本構想について討議が行われた。集会の冒頭、一連の台風で命を落とされた方々に全員で黙祷を捧げた。主催者を代表して神津会長は、2019春季生活闘争を振り返り、これまで以上に賃金の「水準」を重視して取り組みを展開してきたとし、これを2020春闘に引き継ぎ、「分配構造の転換につながる得る賃上げ」をめざすと述べた。その上で、底上げの流れを止めず、労使関係を抜けていくことが重要性であるとして、一人ひとりの皆さんの思いこそ連合運動の基盤であり、全ての働く者のための春季生活である。連合に集う組織の一人ひとりのリーダーの心意気を世の中にしっかりと見せるために、ともに頑張ろうと呼びかけた。続いて、藤本一郎氏（連合総合生活開発研究所 所長）から「2020年度の経済の展望」をテーマに講演が行われ、続いて、鎌田篤氏（中小企業庁 次長）から「下請等中小企業の取引条件改善への取組について」をテーマに講演が行われた。

その後、2020春季生活闘争基本構想に向けた委員会討議について、①労働条件・中小労働委員会から野中委員長、②労働法制委員会から酒向副委員長、③ジェンダー平等・多様性推進委員会から芳野委員長、がそれぞれ報告を行い、富田総合政策推進局長が2020春季生活闘争基本構想について提起し、全体会議において意見交換が行われた。



JR総連議員団会議「第28回全国会議」を開催！



【2019年度 JR総連議員団会議役員】

顧問	田城 郁	前参議院議員
団長	高橋 美奈雄	高崎市議
副団長	日角 邦夫	函館市議
副団長	楠 達男	関ヶ原町議
幹事長	羽田 房男	福島市議
幹事	小笠原 直治	安平町議
幹事	秋村 光男	青森市議
幹事	矢田 松夫	山陽小野田市議

JR総連議員団会議は10月19日、目黒さつきビル会議室において第28回全国会議を開催し、29名が参加した。高橋団長は、統一地方選のお礼、台風被害へのお見舞い、現在の政治情勢について触れ、「JR総連議員団会議は鉄路を守り、公共交通を残すためにJR総連と連携し進んでいく」と挨拶した。

続いて来賓挨拶では、JR総連榎本委員長より情勢と課題が提起され、「JR総連はこれからも平和・人権・民主主義を守るために奮闘していくので力を貸してほしい」と訴えた。

今回の議員団会議は、4月に実施された統一地方選挙で新たに当選された議員も代議員で参加した。参加者全員から近況を含めてこの間の活動等の報告がされ、各単組とのつながりの強さを感じることができ、あらためてJR総連議員団会議の重要性を認識することができた。

JR総連議員団会議では、1年間の方針と新役員体制を確立するとともに、議員団会議の拡大をめざすことを確認した。今回の全国会議で長年議員団会議を牽引してこられた顧問の松本敏雄さんと副団長の宮川寿さんが退任をされ、お二人のこの間のご奮闘を確認し、全国会議は終了した。

JR総連関東地協第32回定期総会を開催！



JR総連関東地協は10月23日、東京北区・滝野川会館において第32回定期総会を開催した。

冒頭、七島議長は挨拶で「台風19号では甚大な被害が出た。特に千曲川の氾濫では新幹線の車両基地が水没したが、危機管理上問題である。これは人災ではないのか」「異常時対応、業務委託などが問題となっている。職場の現実を掴み政策提言を実現して行く」「安倍政権は憲法改正に向け進めている。私たちは国民投票で反対にマルをしなくてはならない。憲法改悪反対に向けたたかっていく」と述べた。

また、今定期総会に来賓としてJR総連より熊谷組織・共闘部長と永島政治部長、関東交運労協より高畑事務局長にご参加いただいた。

総会では11名の発言があり、各都県協の取り組みの報告やシステム労からは残業時間を月70時間から80時間に上限を引き上げるという会社施策に対し、組合として反対の立場から闘いを展開し阻止したこと。また、JR東海労では今年に入り3名の組合員の拡大についての報告があった。JR総連関東地協は、JR総連の方針に則り6単組が一致団結して取り組んで行く事を確認し、最後に新議長の細谷議長(都協・JR東労組)の団結ガンバローで総会を終了した。

(JR総連関東地協より)

役員体制

議長	長	細谷 浩司(JR東労組)
副議長	長	杉澤 秀則(JR東海労)
		中澤 伸一(鉄研労)
		杉田 陽介(システム労)
事務局長		菊地 秀晶(JR貨物労組)
幹事		関 昭生(JR東労組)
		中村 保夫(JR東労組)
		梶田 優一(JR東労組)
		花澤 敏夫(JR東労組)
		西島 光昭(JR東労組)
		鈴木 三男(JR東労組)
		吉沢 将史(JR貨物労組)
		長島 和幸(JR東労組)
		中込 覚(JR東労組)

JR総連東海地協第30回定期委員会を開催！



JR総連東海地協は11月6日、「こくみん共済coop愛知県本部会館 アビタン」において、第30回定期委員会を開催し、来賓、委員、傍聴を含め30名が結集した。

冒頭、細川議長は「台風、大雨で災害が発生した。災害で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い復興を願う」と挨拶し、要員問題、安全問題、平和問題、労働者代表制などについて提起した。

また、来賓としてJR総連・柳書記長に参加していただき、災害、平和、組織問題、労働者代表制などについて挨拶された。特に労働者代表制について「この制度を認めれば、労働組合はいらなくなる。8割の労働者が労働協約に守られていない。労働者代表制の法制化については注視していかなければならない」と現状と問題点について提起された。

委員会は、各県協と各単組から7名の発言を受け、特にJR東労組の仲間からは「組合員と共に新生JR東労組を創っていく」と決意も述べられ、昨一年間の取り組みの総括と向こう一年間のたたかう方針を満場一致で確認し、細川議長の団結頑張ろうで締めくくった。

(JR総連東海地協より)

役員体制

議長	長	細川 朗義(JR貨物労組)
副議長	長	古畑 隼人(JR東労組)
		半場 弘恭(JR東海労)
		山田 哲也(JR東海労)
事務局長		大藤 英樹(JR貨物労組)
常任委員		梶田 優一(JR東労組)
		曲尾 優一郎(JR東労組)
		越坂 武(JR東海労)
		行山 万太郎(JR貨物労組)
		島田 祥光(JR貨物労組)

JR総連5連協秋レクを開催!家族含めて48名が参加!



10月19日、5連協の秋のレクリエーションとして、埼玉県川越市でガラスの箸置きづくり体験を行った。当日は天候にも恵まれ、48名の組合員・家族が参加した。

この日は、折しも川越まつりが開催されており、多くの屋台が建ち並び山車行事も間近で見ることができた。

まず、ガラス工房「Glass Art Blue Moon」で、参加者一人ひとりが思い思いのデザインで箸置きづくりを楽しんだ。

その後は、徒歩で移動して「カリフォルニア キッチンW」で懇親会を行った。

JR総連・間々田副委員長は挨拶で、台風で犠牲になられた方々のご冥福と被災された方々の一日も早い復興を祈念するとともに、多くの組合員・家族に参加していただいたことにお礼を述べ、楽しいひとときを過ごしましょうと呼びかけた。

懇親会ではビンゴゲームを行い、「ビンゴ」の声がかかる度に会場は大いに盛り上がり、各単組から持ち寄った景品を分かち合った。

今回の秋レクは、鉄研労が幹事単組として企画と当日の運営を担当していただいた。事前の下見や打ち合わせにより、楽しくスムーズに進めることができた。また、参加していただいた組合員・家族の皆様にも大変ご協力いただいた。

今後も5連協レクリエーションを通じて、5連協の交流を深めていくことを確認し、秋のレクリエーションは大成に終了した。参加者は、川越まつりを楽しむなどして、それぞれ帰途に着いた。

モンゴル鉄道労組連盟代表団との定期交流で、さらに連帯を深める!

JR総連は10月14日～18日、モンゴル鉄道労組連盟(FMRWTU)との交流協定に基づき、来日した代表団5名を受け入れた。

代表団はJR総連執行部と意見交換を行い、新幹線で函館へ移動。JR北海道労組函館地本の案内により、JR北海道函館新幹線総合車両所の見学などを行った。

団長のFMRWTUアルタンフヤグ副委員長からは、災害へのお見舞いが述べられると共に、ICLSやITFの活動を通じた国際連帯の成果を確認し、今後も交流を継続していく決意が述べられた。

また、車両所訪問では、車両メンテナンスやJR総連の安全の取り組みについて多くの質問を受け、今後も積極的に意見交換を行っていくことを確認した。

JR総連は今後もあらゆる機会を活用して、FMRWTUとの議論を積み重ね、交流を継続していく。

上期会計監査終了のお知らせ

11月8日、JR総連2019年度上期の一般会計と共済会計の内部監査が行われ、健全な財政運営が行われていることが確認されましたので、お知らせします。



あなたと家族に安心届けます。保険はまかせてください。

各種のお問い合わせは、**パソコン・スマホから可能ですので、ご利用をお待ちしております。**

《取扱商品》

- ▲ 自動車保険・火災保険
golfer保険・サークル保険
- ▲ がん保険・医療保険
給与サポート保険
- ▲ JR積立年金
- ▲ 健康食品・自然食品・カレンダー

JR総連・各単組賛助団体

(株)鉄道ファミリー

検索

〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル404
TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198

けいりゅう使える
だからおすめ!

ろうきんなら
コンビニATMの
引出し手数料
0円!

セブン銀行 | 三井住友銀行 | FamilyMart

※ATM利用手数料は別途お支払いください。